

夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校

学校だより 第4号

令和4年7月15日

「どこかで誰かが見えています。見えています。」

今年は平年よりも約1か月も早く6月27日に梅雨明けが発表されました。7月に入ってから連日30度を超える猛暑が続いています。そんな中ですが、コトモノマーケット夏に向けて、各作業班では製品づくりや接客練習等の準備に集中して取り組みました。集中するあまり休憩や水分を取り忘れないように、お互いに声をかけ合ったり自分自身でも気を付けたりして、体調をしっかり管理することや周囲の人、周りの様子を気にかけることは、今後社会人として働く上でとても重要なことだと改めて感じました。



体調面だけでなく、日々の生活の中でも、自分自身の行動言動に注意を払うことや、周りの様子を見て励ましや注意の声をかけることが大切だと思います。正直、なかなか声をかけづらかったり、声をかけてもらえないと淋しく感じたりすることがあるかも知れません。でも、どこかで誰かが必ず見ているし、見えています。良いことも悪いことも、頑張っていることも手を抜いていることも、喜んでいることも悲しんでいることも。なので、自分に正直にやれることを精一杯やること。誰かしらわかってくれる人がいる、聞いてくれる人がいる、決して一人ではないということを頭の片隅に入れておいてください。そして、何か苦しいと感じた時には、自分には味方がたくさんいるということを思い出してください。

若いころ社会人チームでサッカーをやっていました。毎年、シーズンの終わりにになると得点王の発表がありました。私は MF(ミッドフィルダー:攻めも守りもどちらもする人)であまり得点はできず、得点王にはなれませんでした。また、お互いに選手同士で投票し、その年に頑張った MVP を決めていました。なかなか MVP にも縁がなく、一度も獲ったことはありませんでした。それでも皆でサッカーができて楽しくて、サッカーができてだけで幸せでした。そんなシーズンを何年も繰り返していたある年の表彰式でした。司会進行の友達がいつものように「今年の得点王は〇〇点で□□さんです」「そして MVP は〇〇票を獲得した△△さんです」と発表したあと、「今年は特別賞があります。3年連続で MVP に一步届かなかった、万年2位の三宅さんです」とちょっとふざけた感じで表彰してくれました。その時は私もまだ若かったので照れ隠して「まあまあそんなもんです」と素直に喜びを表現できませんでした。でも内心は周りの皆がそんな風に見てくれたことが本当に嬉しくて、ちゃんと誰かが見えてくれていると安心した気持ちや自信をもつことができました。(逆にどこで誰が見てるかわからないので手を抜けないというプレッシャーも感じるようになりました)

というわけで、少し我慢話風になってしまったところもありますが、言いたいことは「どこかで誰かが見えています。見えています。」「決して一人ではありません。」ということです。明日から長い夏休みが始まります。友達と会うことも少なくなったり一人で過ごすことが増えたりするかもしれません。何か不安なことがあったら一人で悩まずにすぐに相談してください。味方はたくさんいますので大丈夫です!素敵な夏休みを過ごしてください。夏休み明けに楽しいお話お待ちしております。

校長 三宅 健二郎